

平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月27日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成28年5月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	88,469	△1.3	8,522	△8.8	7,841	△3.0	7,399	60.6
27年12月期第1四半期	89,598	4.1	9,340	△25.0	8,079	△33.0	4,607	△27.2

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △2,482百万円 (-%) 27年12月期第1四半期 3,006百万円 (△21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	13.52	13.51
27年12月期第1四半期	8.42	8.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	702,584	605,565	86.1
27年12月期	720,764	614,858	85.2

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 605,102百万円 27年12月期 614,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	12.50	-	12.50	25.00
28年12月期	-	-	-	-	-
28年12月期 (予想)	-	12.50	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	171,000	△4.4	9,000	△59.9	-	-	-	-	-
通期	351,000	△3.7	30,000	△31.5	25,000	△36.2	16,000	△46.3	29.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については通期のみで連結業績予想を算出していることから、第2四半期 (累計) については、売上高・営業利益の予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	576,483,555株	27年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	29,257,697株	27年12月期	29,256,749株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	547,226,349株	27年12月期1Q	547,324,783株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年1月1日から3月31日までの3か月間）の売上高は884億円（前年同期比1.3%減）、営業利益は85億円（同8.8%減）、経常利益は78億円（同3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73億円（同60.6%増）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益+のれん償却額+持分法投資損益）は107億円（同7.0%減）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、新製品の伸長があったものの、為替影響や研究開発費の増加等により減収減益となりました。
- ◎ 経常利益も減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益等の特別利益の増加により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、680億円（前年同期比0.1%減）となり、営業利益は59億円（同24.2%減）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、新製品の伸長等により前年同期を上回りました。
 - ・主力製品の持続型赤血球造血刺激因子製剤「ネスプ」は堅調に推移し、売上高が前年同期を上回りました。
 - ・持続型G-C-S-F製剤「ジーラスタ」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、2型糖尿病治療剤「オングリザ」及び尋常性乾癬治療剤「ドボベット」等の新製品は順調に伸長しました。
 - ・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、好中球減少症治療剤「グラン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。
- ◎ 海外の売上高は、為替影響や技術収入の減少等により前年同期を下回りました。
 - ・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」等が伸長したものの、技術収入の減少等により売上高は前年同期を下回りました。
 - ・オピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」の欧州における販売権をアストラゼネカ社から2月に取得しました。
 - ・アジアでは、韓国を中心に堅調に推移したものの、為替の円高進行もあり売上高は前年同期並みとなりました。

② 研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第1四半期連結累計期間における主な後期開発品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

- ・日本においてカルシウム受容体作動薬KHK7580の血液透析施行中の二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・日本においてRTA 402の2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤KRN 321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認申請を2月に取り下げました。なお再申請の時期は未定です。

がんカテゴリー

- ・日本においてc-Met阻害剤ARQ 197のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、皮膚T細胞性リンパ腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国、欧州及び日本等において、成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州等において、それぞれ実施中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

- ・日本において抗IL-17受容体完全ヒト抗体KHK4827は乾癬を対象として承認申請中です（平成27年7月申請）。
- ・日本及び韓国において抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563の喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を、ライセンス導出先であるアストラゼネカ社が実施中の国際共同試験計画の一環として実施中です。また、日本において慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を、アストラゼネカ社が実施中の国際共同試験計画の一環として実施中です。

中枢神経カテゴリー

- ・北米及び欧州等においてKW-6002（日本製品名「ノウリアスト」）のパーキンソン病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

その他

- ・北米、欧州、日本及び韓国において抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体KR N23の成人X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、米国及び欧州において小児X染色体遺伝性低リン血症を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬AMG531（日本製品名「ロミプレート」）の慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、212億円（前年同期比4.1%減）となり、営業利益は23億円（同58.8%増）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、前年同期並みとなりました。
 - ・輸液用アミノ酸や医薬品原薬は、前年同期を上回りました。
 - ・「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は堅調に推移しました。
- ◎ 海外の売上高は、為替の円高進行の影響等により前年同期を下回りました。
 - ・米州では、Cognizin（シチコリン）が米国で全国展開する健食チェーンのサプリメントシリーズに採用になり数量が増加したほか、輸液用アミノ酸が伸長しました。
 - ・欧州では、前年5月の香粧品原料事業譲渡の影響により、前年同期を下回りました。
 - ・アジアでは、工業用アミノ酸での顧客の生産調整の影響等により、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ181億円減少し、7,025億円となりました。
 - ・流動資産は、資金運用としての親会社への短期貸付金の減少等により、前連結会計年度末に比べ141億円減少し、3,103億円となりました。
 - ・固定資産は、販売権の増加がありましたが、償却によるのれんの減少等により、前連結会計年度末に比べ40億円減少し、3,922億円となりました。
 - ◎ 負債は、支払手形及び買掛金の増加がありましたが、未払金や未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ88億円減少し、970億円となりました。
 - ◎ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、配当金の支払いや為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ92億円減少し、6,055億円となりました。
- この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し、86.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月29日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,236	13,237
受取手形及び売掛金	106,829	106,950
商品及び製品	61,965	59,589
仕掛品	12,363	11,691
原材料及び貯蔵品	10,476	12,155
繰延税金資産	11,147	10,796
短期貸付金	96,104	87,302
未収入金	7,692	4,343
その他	4,818	4,489
貸倒引当金	△202	△243
流動資産合計	324,433	310,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,227	136,842
減価償却累計額	△91,810	△88,235
建物及び構築物（純額）	49,417	48,607
機械装置及び運搬具	165,623	162,495
減価償却累計額	△134,994	△132,712
機械装置及び運搬具（純額）	30,629	29,782
土地	46,685	46,363
建設仮勘定	11,339	12,515
その他	51,124	50,238
減価償却累計額	△42,152	△41,622
その他（純額）	8,972	8,616
有形固定資産合計	147,043	145,885
無形固定資産		
のれん	155,851	148,647
販売権	56,233	61,422
その他	722	642
無形固定資産合計	212,807	210,713
投資その他の資産		
投資有価証券	14,043	12,544
退職給付に係る資産	6,964	7,578
繰延税金資産	10,355	10,334
その他	5,311	5,370
貸倒引当金	△194	△155
投資その他の資産合計	36,480	35,673
固定資産合計	396,331	392,272
資産合計	720,764	702,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,086	23,298
短期借入金	4,840	4,834
未払金	39,866	33,399
未払法人税等	11,830	4,595
売上割戻引当金	2,097	1,836
ポイント引当金	238	237
賞与引当金	427	3,640
その他	6,436	7,183
流動負債合計	84,823	79,027
固定負債		
繰延税金負債	12,092	10,768
退職給付に係る負債	1,883	1,781
役員退職慰労引当金	114	109
工場再編損失引当金	3,203	3,200
資産除去債務	404	199
その他	3,385	1,932
固定負債合計	21,082	17,991
負債合計	105,906	97,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,127	509,128
利益剰余金	85,997	86,557
自己株式	△26,881	△26,883
株主資本合計	594,989	595,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,979	2,100
為替換算調整勘定	18,819	9,712
退職給付に係る調整累計額	△2,360	△2,257
その他の包括利益累計額合計	19,438	9,555
新株予約権	430	462
純資産合計	614,858	605,565
負債純資産合計	720,764	702,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	89,598	88,469
売上原価	37,677	36,746
売上総利益	51,921	51,723
販売費及び一般管理費		
研究開発費	12,128	13,706
のれん償却額	3,347	3,268
その他	27,104	26,225
販売費及び一般管理費合計	42,580	43,200
営業利益	9,340	8,522
営業外収益		
受取利息	113	131
受取配当金	31	174
為替差益	—	466
デリバティブ評価益	744	—
その他	271	204
営業外収益合計	1,160	975
営業外費用		
支払利息	15	12
為替差損	970	—
デリバティブ評価損	—	324
持分法による投資損失	1,124	1,041
固定資産処分損	87	238
その他	222	40
営業外費用合計	2,421	1,657
経常利益	8,079	7,841
特別利益		
固定資産売却益	—	2,719
債務免除益	—	1,334
投資有価証券売却益	—	256
受取補償金	619	—
特別利益合計	619	4,310
特別損失		
火災による損失	209	—
減損損失	205	—
特別損失合計	415	—
税金等調整前四半期純利益	8,284	12,151
法人税等	3,676	4,752
四半期純利益	4,607	7,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,607	7,399

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	4,607	7,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,409	△878
為替換算調整勘定	△4,020	△9,043
退職給付に係る調整額	10	102
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△63
その他の包括利益合計	△1,601	△9,882
四半期包括利益	3,006	△2,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,006	△2,482
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,851	21,747	89,598	—	89,598
セグメント間の内部売上高	210	394	604	△604	—
計	68,061	22,142	90,203	△604	89,598
セグメント利益	7,787	1,460	9,247	93	9,340

注1. セグメント利益の調整額93百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,803	20,666	88,469	—	88,469
セグメント間の内部売上高	208	558	767	△767	—
計	68,011	21,224	89,236	△767	88,469
セグメント利益	5,900	2,318	8,219	303	8,522

注1. セグメント利益の調整額303百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。